

大島明), 2007.

6) Tengs TO, Wallace A. One thousand health-related quality-of-life estimates. *Medical Care* 2000; 38(6): 583-637

7) Murakami Y, Ueshima H, Okamura T, NIPPON DATA80 research group, et al. Life expectancy among Japanese of Different smoking status in Japan: NIPPON DATA80. *J Epidemiol* 2007; 17(2): 31-7.

8) 片野田耕太. 喫煙関連変数を用いた肺癌死亡予測モデルの構築. In: 厚生労働科学研究・第3次対がん総合戦略研究事業・効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度化に関する研究・平成18年度総括・分担研究報告書(主任研究者 大島明), 2007.

9) Hirayama T. Life-style and mortality -A large-scale census-based cohort study in Japan-. Tokyo: Karger, 1990.

10) Sobue T, Yamamoto S, Hara M, JPHC Study Group, et al. Cigarette smoking and subsequent risk of lung cancer by histologic type in middle-aged Japanese men and women: the JPHC study. *Int J Cancer* 2002; 99(2): 245-51.

11) Ando M, Wakai K, Seki N, JACC study group, et al. Attributable and absolute risk of lung cancer death by smoking status: findings from the Japan Collaborative Cohort Study. *Int J Cancer* 2003; 105(2): 249-54.

12) 祖父江友孝, 磯博康, 井上真奈美, 他. 大規模コホート研究の併合解析による喫煙と疾患の関連に関する疫学研究. In: 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 たばこに関する科学的知見の収集に係る研究(主任研究者: 祖父江友孝). 平成18年度総括・分担研究報告書; 2007. p. 9-43.

福田敬. 医療経済評価の政策利用について -禁煙治療の保険収載を例に-. *Monthly IHEP* 2007; 152: 39-43.

## 2. 学会発表

五十嵐中, 福田敬, 津谷喜一郎. 禁煙治療薬バレニクリンの費用効用分析. 第66回日本公衆衛生学会総会, 松山. 2007.10

## G. 知的財産権の出願・登録

特に記載するべきものなし。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

表 1 主な喫煙関連疾患に罹患した場合の年間医療費の設定

疾患	年間費用(万円)
口腔・咽頭がん	176
食道がん	176
胃がん	113
肝がん	266
直腸がん	148
膵がん	176
肺がん	234
子宮頸がん	110
腎がん	176
膀胱がん	16
虚血性心疾患	91
脳卒中(くも膜下出血)	241
脳卒中(脳内出血)	203
脳卒中(脳梗塞)	116

表 2 喫煙関連疾患の QOL 評価値の設定

疾患番号	QOLウェイト番号	QOL評価値
1 cancer-larynx	243	0.917
2 cancer-esophagas		1.000
3 cancer-gastric	239	0.750
4 cancer-liver	276	0.490
5 cancer-rectal	233	0.850
6 cancer-pancreas	349	0.690
7 cancer-lung	278	0.650
8 cancer-endometrial	235	0.900
9 cancer-renal		1.000
10 cancer-bradder		1.000
11 hypertensive heart disease		1.000
12 ischemic heart disease	579	0.900
13 aneurysm	373	0.750
14 apoplexy		1.000
15 pneumonia	889	0.890
16 ulcer		1.000
17 COPD	889	0.890
18 asthma	882	0.930
19 cirrosis	768	0.920

Source: Tengs TO, Wallace A. One thousand health-related quality-of-life estimates. Medical Care 2000; 38(6): 583-637

※文献に値がないものは結果を過大評価しないように QOL 評価値を 1 として計算した。

表 3 禁煙指導・禁煙補助薬の費用効用分析の結果（対象患者全体）

性別	割引率	医療費（円）		アウトカム（QALY）	
		無指導	指導+NRT	無指導	指導+NRT
男性	3%	1,765,275	1,597,083	20.895	21.123
女性	3%	1,297,468	1,175,245	20.704	20.862
男性	0%	3,753,337	3,343,081	35.002	35.619
女性	0%	2,516,507	2,237,585	33.739	34.116

表 4 禁煙指導・禁煙補助薬の費用効用分析の結果（増分分析・対象患者全体）

性別	割引率	禁煙指導+NRT		
		増分費用（円）	増分 QALY（年）	ICER（円/年）
男性	3%	-168,193	0.228	dominant
女性	3%	-122,223	0.158	dominant
男性	0%	-410,256	0.616	dominant
女性	0%	-278,922	0.377	dominant

表 5 禁煙指導・禁煙補助薬の費用効用分析の結果（5回完了者）

性別	割引率	医療費（円）		アウトカム（QALY）	
		無指導	指導+NRT	無指導	指導+NRT
男性	3%	1,762,544	1,514,424	20.889	21.220
女性	3%	1,295,731	1,114,345	20.700	20.927
男性	0%	3,753,276	3,152,970	34.988	35.887
女性	0%	2,523,039	2,109,808	33.762	34.319

表 6 禁煙指導・禁煙補助薬の費用効用分析の結果（増分分析・5回完了者）

性別	割引率	禁煙指導+NRT		
		増分費用（円）	増分 QALY（年）	ICER（円/年）
男性	3%	-248,120	0.332	dominant
女性	3%	-181,385	0.227	dominant
男性	0%	-600,305	0.899	dominant
女性	0%	-413,231	0.557	dominant

表 7 NIPPON DATA と簡易生命表の、統合した平均余命の差分

	男 性			女 性		
	NIPPON DATA	生命表	差分	NIPPON DATA	生命表	差分
30 歳	-	49.8	-		56.4	-
40 歳	39.5	40.3	0.8	46.7	45.4	1.3
50 歳	30.2	31	0.8	37.1	35.8	1.3
60 歳	21.5	22.4	0.9	27.9	26.6	1.3
70 歳	13.6	14.7	1.1	19.1	17.9	1.2

表 8 喫煙習慣別の平均余命(モデルと NIPPON DATA の比較)

男性	喫煙中止			喫煙継続		
	モデル	NIPPON DATA	差分	モデル	NIPPON DATA	差分
30 歳	51.2	-		49.6	-	
40 歳	41.6	40.4	1.2	40.2	38.6	1.6
50 歳	32.0	30.9	1.1	30.8	29.4	1.4
60 歳	23.3	22.1	1.2	22.6	20.7	1.9
70 歳	16.0	13.8	2.2	15.7	13.1	2.6

女性	喫煙中止			喫煙継続		
	モデル	NIPPON DATA	差分	モデル	NIPPON DATA	差分
30 歳	55.1	-		53.9	-	
40 歳	45.3	45.9	-0.6	44.3	43.4	0.9
50 歳	35.9	35.9	0.0	34.9	33.9	1.0
60 歳	26.5	25.9	0.6	25.9	25.2	0.7
70 歳	17.7	17.9	-0.2	17.5	16.9	0.6

表 9-1 統合した平均余命 (モデルと NIPPON DATA との比較)

	男 性			女 性		
	モデル	NIPPON DATA	差分	モデル	NIPPON DATA	差分
30 歳	50.2	-		54.9	-	
40 歳	40.8	39.5	1.3	45.1	45.4	-0.3
50 歳	31.4	30.2	1.2	35.8	35.8	0.0
60 歳	23.0	21.5	1.5	26.5	26.6	-0.1
70 歳	15.9	13.6	2.3	17.7	17.9	-0.2

表 9-2 統合した平均余命（モデルと簡易生命表との比較）

	男 性			女 性		
	モデル	簡易生命表	差分	モデル	簡易生命表	差分
30 歳	50.2	49.8	0.4	54.9	56.4	-1.5
40 歳	40.8	40.3	0.5	45.1	46.7	-1.5
50 歳	31.4	31.0	0.4	35.8	35.8	-1.3
60 歳	23.0	22.4	0.6	26.5	26.6	-1.5
70 歳	15.9	14.7	1.2	17.7	17.9	-1.4

表 10 累積肺がん罹患率（モデルと加茂研究との比較）

	モデル	加茂研究	リスク比
男性	8.00%	8.00%	1.0
女性	2.80%	3.50%	0.8

表 11 がん統計データベースの過去のデータと比較した年齢調整肺がん罹患率

	男 性			女 性		
	モデル	がん統計	リスク比	モデル	がん統計	リスク比
1993-1997	320.6	332.4	0.96	103.0	100.2	1.03
1998-2002	503.6	516.2	0.98	156.7	161.5	0.97

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中村正和	第4章 喫煙とニコチン依存症	井埜利博(監修)	喫煙病学	最新医学社	大阪	2007	56-65
中村正和	第2章 9.保険診療 B.保険による禁煙治療の検証結果	日本禁煙科学会(編)	禁煙指導・支援者のための禁煙科学	文光堂	東京	2007	132-135
中村正和	25 リスク管理としての禁煙勧奨・支援	門脇 孝, 島本和明, 津下一代, 松澤祐次(編)	メタボリックシンドロームリスク管理のための健診・保健指導ガイドライン	南山堂	東京	2008	190-198
大和 浩, 他	受動喫煙の害から守る環境対策	井埜利博(監修)	喫煙病学	最新医学社	大阪	2007	293-306
江口将史, 大和 浩	全国の医療機関の禁煙化状況-医・歯学部および附属大学病院	日本禁煙科学会(編)	禁煙指導・支援者のための禁煙科学	文光堂	東京	2007	316-317
大和 浩	医療機関における受動喫煙防止方法	日本禁煙科学会(編)	禁煙指導・支援者のための禁煙科学	文光堂	東京	2007	318-319
大島 明	大阪の生活習慣病への取り組みーがんに焦点をあててー	末原紀美代(編)	地域医療論ー大阪の医療をみつめてー. 堺・南大阪地域学別刊1	大阪公立大学共同出版会	大阪	2007	19-58

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中村正和	健診や医療の場での禁煙支援・治療の実際	人間ドック	22(3)	90-116	2007
中村正和	メタボ対策には禁煙が重要	月刊地域保健	38(9)	44-51	2007
中村正和	「特定健診・保健指導の効果的な進め方」禁煙に取り組むことの医療経済効果	Arcs	33	15-23	2007
中村正和	禁煙治療の現状と課題	Journal of Clinical Rehabilitation	17(3)	290-295	2008

岡本智教、田中太一郎、由田克士、武林亨、大和浩、三浦克之、中川秀昭、日下幸則、岡山明、山縣然太郎、上島弘嗣	職域におけるポピュレーション・アプローチを用いた生活習慣病危険因子の改善(HIPOP-OHP研究).	産業医学ジャーナル	30	59-64	2007
大島 明	医療制度改革の中の検診	EBM ジャーナル	8(2)	164-170	2007
大島 明	メタボリックシンドローム対策と禁煙支援	公衆衛生	71(3)	222-225	2007
大島 明	わが国のタバコ規制の現状と課題	総合臨床	56(10)	2923-2924	2007
大島 明	肺癌と喫煙	日本胸部臨床	66(12)	981-992	2007
大島 明	禁煙ー最も効果的な肺がん予防対策ーを如何に進めるか	Medical Practice	25(1)	45-48	2008
大島 明	地域がん登録から見たがん予防対策の今後の課題	日本保険医学雑誌	106(1)	78-89	2008
片野田耕太	がんの死亡率と罹患率の今後の動向	ドクターサロン	51(12)	915-9	2007
福田敬	医療経済評価の政策利用についてー禁煙治療の保険収載を例にー	Monthly IHEP	152	39-43	2007